

小中一貫教育と義務教育 学校について



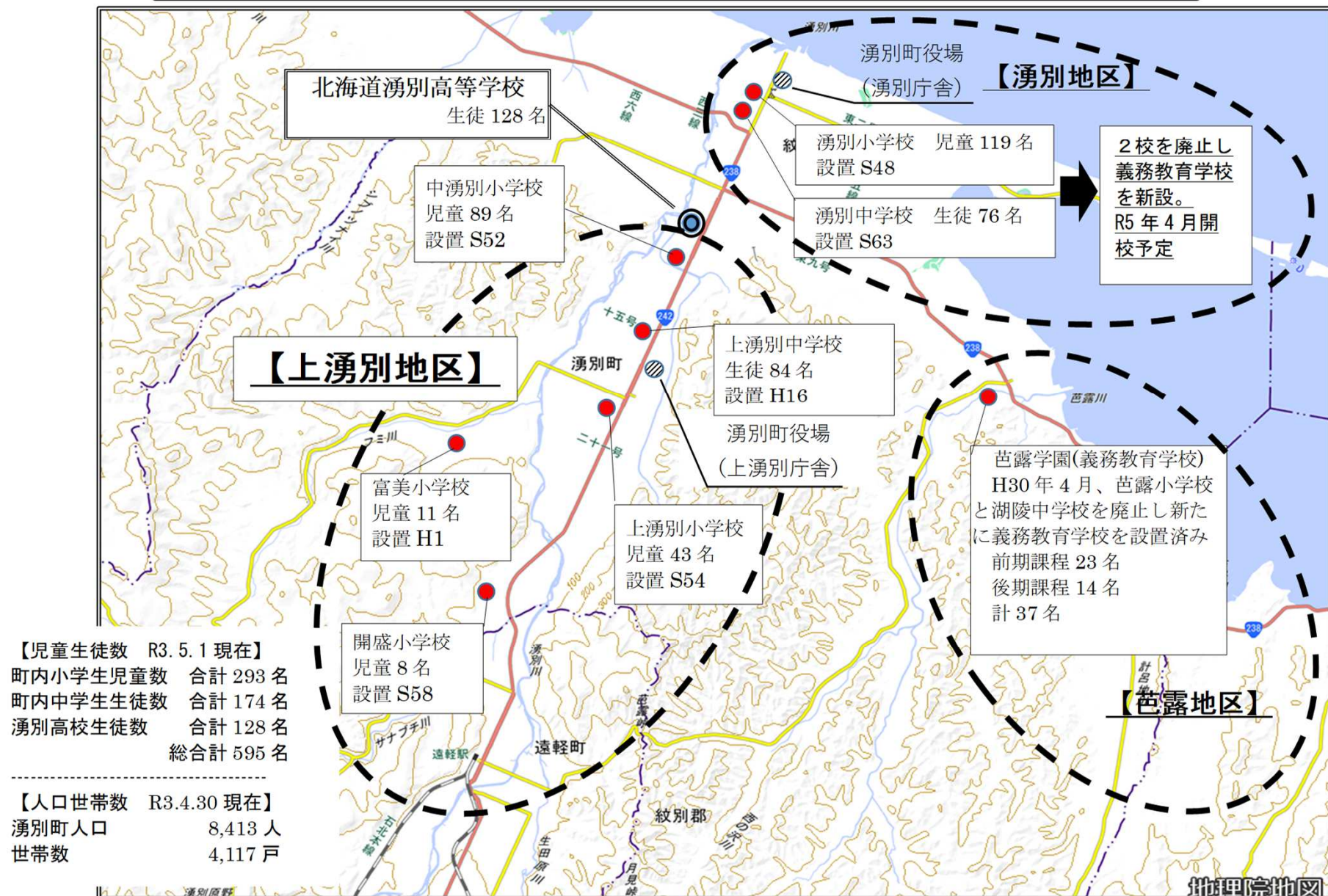
湧別町教育委員会

現在の学校配置状況

- ◎ 芭露地区 1校
芭露学園（平成30年4月 義務教育学校開校）
- ◎ 湧別地区 2校 → 1校（R5年4月）
湧小と湧中を廃止し義務教育学校を新設予定
R5年4月開校に向け増築工事実施中
- ◎ 上湧別地区 5校
開盛小・富美小・上小・中小・上中

合 計 8校

湧別町の学校位置図

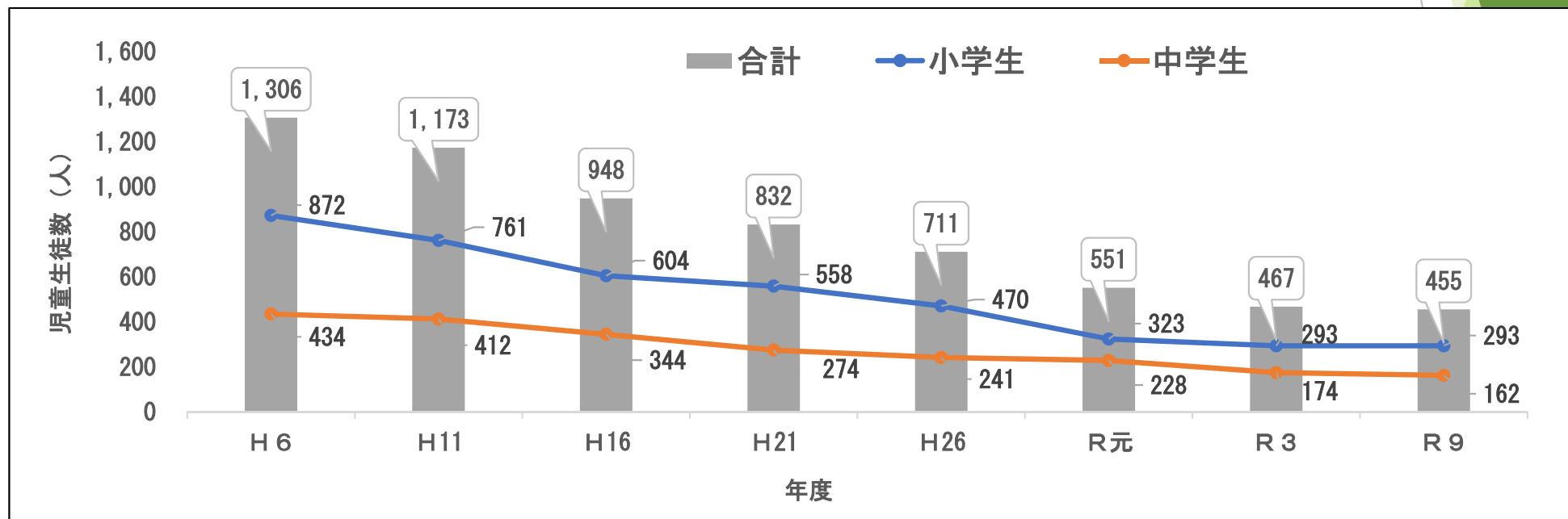


湧別町児童生徒数の推計

H6(1994)年度の児童生徒数は、小学生が872名、中学生が434名の合計1,306名でありましたが、R3(2021)年度は、小学生が293名、中学校生が174名の合計467名まで減少しました。

H6(1994)年度からR3(2021)年度の27年間における減少率は、小学生が66.4%の減、中学生が59.9%の減、そして全体で64.2%の減となっております。

R2(2020)年度の出生者数を考慮し、R9(2027)年度の児童生徒数を見込むと、小学生が293名、中学校生が162名の合計455名になると想定されます。



学校別の児童生徒数の推計

(単位：人)

学校名		H6	H11	H16	H21	H26	R元	R3	R9
上湧別小学校		105	89	86	75	89	51	43	39
中湧別小学校		254	225	193	171	133	91	89	77
開盛小学校		34	23	22	35	17	8	8	5
富美小学校		22	19	16	9	9	10	11	7
湧別小学校		332	297	233	221	190	139	119	130
小学校小計		747	653	550	511	438	299	270	258
上湧別中学校		232	183	160	139	123	119	84	82
湧別中学校		151	171	139	114	95	93	76	65
中学校小計		383	354	299	253	218	212	160	147
芭露学園	旧芭小	125	108	54	47	32	40	37	50
	旧湖中	51	58	45	21	23			
合 計		1,306	1,173	948	832	711	551	467	455

湧別町で進めようとしている 義務教育学校とは

義務教育学校は小学校 6 年間、中学校 3 年間の義務教育期間の合計 **9 年間を 1 つの学校**として小中一貫教育を行う学校です。「小学校 6 年」と「中学校 3 年間」で区切ることなく、子どもたちの成長、発達に合わせた指導を行います。4－3－2 や 5－4 のように柔軟な学校段階を区切ることができます。

9 年間の一貫した教育カリキュラムと継続した生徒指導を行うことが特徴です。

義務教育学校を開始する背景 (なぜ今、義務教育学校なのか?)

【学習指導上の課題への対応】

○小・中の教育を義務教育としてくくり、
確かな学力から応用力

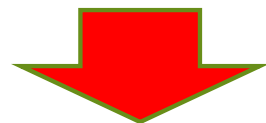
【生徒指導上の問題への対応】

○中1ギャップへの対応

【少子化等への対応】

○小中学校の適正規模化

こうしたことを解決していきたい



小中一貫教育9年間の教育で、**学力の確実な定着**を目指します
一般的に

小学校での指導

【担任（学級担任）一人で】

学級担任
(丁寧な指導)



中学校での指導

【複数の担任（教科担任）で】

教科担任
(専門的な指導)



両方の良い
ところを取り入れて



効果的な指
導をしています

こうしたことを解決していきたい



「中1ギャップ」「小中ギャップ」の解消

小学校6年生から中学校1年生に上がると不登校が増える傾向にあります。同じ校舎で9年間学ぶことにより小学校と中学校のギャップを小さくすることができます。このことにより**不登校になる子どもをなくしたい**と考えています。

義務教育学校と小学校・中学校の違い

項 目	義務教育学校	小学校	中学校
修業年限	9 年 (前期課程 6 年) (後期課程 3 年)	6 年	3 年
組織運営	一人の校長、一つの教職員組織	一人の校長、一つの教職員組織	一人の校長、一つの教職員組織
教育課程	9 年間の教育目標と教育課程	6 年間の教育目標と教育課程	3 年間の教育目標と教育課程
学年	1 年生～ 9 年生	1 年生～ 6 年生	1 年生～ 3 年生
小中一貫教育を行うための教育課程の特例	○自由にできる 学校の判断で 9 年間の学年段階の区切りが設定できる。 例) 4-3-2制、5-4制	△申請許可が必要 小中一貫型小学校・中学校として併置型・連携型のいずれかを選択し、小中一貫教育に必要な教育課程の特例を文科省に申請して指定を得る必要がある。	

義務教育学校のメリット (芭露学園の検証結果)

1 中一の壁・小中ギャップの解消、継続的な指導体制

- 1) オール芭露学園の指導体制
- 2) 9年間を通じた見守り体制

2 9年間の連続性を生かした小中一貫教育

- 1) 専科指導による学力向上
- 2) 9年間を通じた外国語の一貫教育
- 3) 学習のつまづきを速やかに解消

3 広い年齢間交流による情操教育

- 1) 下級生へのいたわり
- 2) 上級生への憧れ

4 教職員組織の一体化によるメリット

- 1) 教職員の相互理解
- 2) 組織一丸となった学校行事対応
- 3) 前期課程、後期課程の教師の指導力向上
- 4) 働き方改革への対応

義務教育学校のデメリット

- 1 **6年生のリーダー性の発揮の場がない**
- 2 **1～9年生の学校行事の内容**
- 3 **教職員の意識**

湧別地区義務教育学校の理念（案）

「多様な人々と協働して学び続ける力」を育成するための総合的なカリキュラム・デザイン

「多様な人々と協働して学び続ける力」の柱となる資質・能力

